



※1 部分負荷運用

石炭火力発電所は、昼間の需要が多いときは定格(フル)出力で運転しているが、それ以外ではフル出力にしないことも多い(例えば需要が少ないときは50%程度の(ハーフ)中間出力で運用する等)。これを部分負荷運用という。

※2 負荷変化速度

負荷変化速度とは、1 分間あたりの発電出力変化の割合で、負荷変化率ともいい、この値が大きい方が発電所の運用性に優れている。(下図参照)

